

私たちが創りだす

笑顔と自然あふれる

元気なまち

6つのまちづくりの基本目標を重点的に

本年度の市政運営に当たって、総合計画の将来像「私たちが創りだす 笑顔と自然あふれる 元気なまち」の実現に向け、重点的に取り組む施策として、6つのまちづくりの基本目標に基づいて取り組みます。

(1)ともに創る協働のまち

地方分権が進展し、財政面でも行政主導のまちづくりが限界に来ている中、一人ひとりの市民が知恵や力を発揮し、市民と行政が一体となって、「相互信頼」と「情報共有」に基づく協働のまちづくりに取り組むことが特に重要であります。そのため、まちづくりへの市民参加を促進するとともに、安定した財政運営を行うために、新たな財源を含めた自主財源の確保や行財政改革に努めます。

加えて、新庁舎は、市民との協働による地方自治の推進と多様化する市民ニーズに確実に対応できることが求められており、市民サービスの向上および行政効果を一層高めていくために、早期に取り組まなければならない重要な課題であります。

【施策】

- ① 公共施設の統廃合
- ② 税の電話催告センターの開設

(2)個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち

本市は、合併により多様な環境の学校を有するとともに、児童生徒の減少などによるさまざまな教育課題も生じている状況にあります。このような中、個性と創造性豊かな未来の担い手として子どもたちを育成していくため、本市の実情に応じた独自の教育方針や基準を設定し、それぞれの地域で、はぐくんできた文化や価値観などの特性を生かした教育の振興に取り組むとともに、家庭・地域・学校などの有機的な連携のもとに子どもたちの健全育成に取り組めます。



▲ 昨年の蛇田小学校ふれあい文化祭

【施策】

- ① 石巻市教育ビジョン実施計画の策定
- ② 各小中学校の耐震補強事業の継続実施
- ③ 門脇中学校体育館改築事業の着手
- ④ 学校施設および社会教育・体育施設などへの自動体外式除細動器の設置
- ⑤ 石巻市特別支援教育共同実習所への中学生受け入れ全市拡大

(3) 地域資源を活かして 元気産業を創造するまち

本市は、自然資源の宝庫であると同時に、石巻港や三陸縦貫自動車道の優位性のほか、バランスの取れた産業構造があり、東北沿岸部拠点都市としての役割が期待されています。

その一方で、さくら野百貨店の撤退など中心市街地の空洞化が著しく、中心部の活性化が急務であり、豊富な産業・観光資源を活かした観光の振興も含め、市の均衡ある発展が重要であります。

そのため、市の中心部へ商業・公共・歴史・文化・娯楽など多種多様な都市機能を集積し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを目指します。



▲ブレDCのSL ホエール号

【施策】

- ① 中心市街地活性化基本計画の策定
- ② 産学官連携による「自動車関連産業集積部会」の活動支援
- ③ トップマネジメントによる新たな事業展開や起業家の育成、新産業の創出
- ④ 「仙台・宮城デステイネーションキャンペーン」の官民一体となった推進と継続性のある観光振興への取り組み

(4) 安心して健やかに暮らせるまち

子どもから高齢者まで、だれもが笑顔で安心して暮らせる環境やそれを支援する仕組みを構築することが、住みたくなるまちづくりには欠かせないとの考えから、安心して子どもを生み育てられる環境づくりに向け、各種施策に取り組みとともに、新しい後期高齢者医療制度への移行や近い将来高い確率で発生が予想される宮城県沖地震へ対応した災害に強いまちづくりに取り組みます。

【施策】

- ① 保育所の低年齢児保育枠と障害児定員の拡大
- ② 障害児の保育対象年齢を3歳以上から1歳以上に拡大
- ③ 相川保育所・雄勝保育所整備事業への着手
- ④ 放課後児童クラブの新設と開設時間の延長
- ⑤ 「子どもの権利に関する条例」の制定
- ⑥ 妊婦検診の助成拡大と子育て支援に関する各種専門相談事業の充実

(7) 後期高齢者医療制度の適正な実施および浸透

- ⑧ 石巻消防署南分署の解体・新築
- ⑨ 消防水利の低い地域への耐震貯水槽の設置や手引き車により消火活動を行っている地域へのポンプ車の配置など消防設備の充実



▲ 消防出初め式

(5) 心ゆたかな誇れるまち

本市は、多様で豊かな自然に囲まれています。その自然と共生するとともに、これを次の世代に確実に継承していくことが重要であります。

また、毛利コレクションをはじめとする多くの歴史文化資料があり、これらは私たちの祖先が残してくれた、市民共有の貴重な財産であり、次代に継承していくことが重要であります。

【施策】

- ① 自然環境確認調査の実施
- ② 石巻文化センター歴史文化資料収蔵展示施設改修整備基本計画の策定

(6) 地域の個性が輝き 融和するまち

市民一人ひとりが、地域の個性や特色を活かし、尊重し合いながら、心をつなげて、地域づくりに取り組むことが住みたくなるまちづくりの根幹であるとの考えから、石巻市地域づくり基金事業を見直し、協働のまちづくりへの新たな展開に取り組みます。

また、交通弱者にやさしい交通体系の整備に、市民と協働しながら取り組みます。

【施策】

- ① 石巻市地域づくり基金事業の助成金対象事業を見直し、市民と行政の協働のまちづくり事業や地域コミュニティ活性化事業へ支援
- ② 市民との協働により運行協議会方式による新しい地域バス・乗合タクシー交通へ移行
- ③ 「河南川尻線」の拡幅工事と「石巻工業港曾波神線」の用地取得
- ④ 交通弱者の安全確保のための歩道整備や市街地における歩道のバリアフリー化の推進



▲ 毛利コレクション 縄文土器